

会員による受注状況の報告

当協議会では、会員企業の皆様の受注機会の拡大を目的として、毎週1回、入札情報を配信しています。配信している情報は、日本原子力研究開発機構（JAEA）、高エネルギー加速器研究機構（KEK）のJ-PARC関連、量子科学技術研究開発機構（QST）那珂研究所、および総合科学研究機構（CROSS）の案件です。

本年度は計48回の入札情報を発信しました。その結果、会員企業の受注実績は、現時点で把握している分（本年1月末までの落札分）だけでも合計50.1億円に達しています。

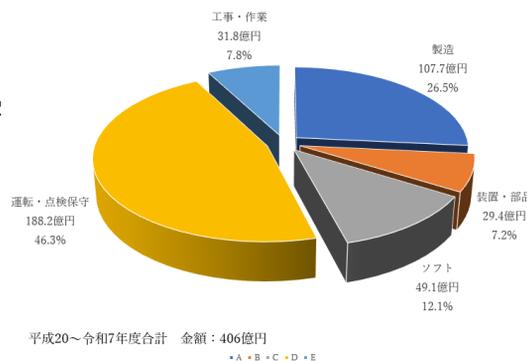
令和7年度の最終的な受注実績は令和8年7月頃に確定する見込みですが、本年度は大型案件の発注が比較的少なかったことなどから、現時点では昨年度実績をやや下回る見込みです。

来年度も会員企業の皆様の受注機会の拡大につながるよう、入札情報の提供等に取り組んでまいります。

また、令和7年度も会員企業の皆様と研究者の方々との交流を深めるため、QST那珂研究所およびJAEA大洗研究所の2機関とマッチングイベントを開催しました。

来年度も引き続きマッチングイベントの開催を予定しています。自社技術をPRできる貴重な機会ですので、多くの会員企業の皆様のご参加をお待ちしております。

【受注内容の項目分類（18年間の累計）】



ソフト関係（設計、ソフト開発等）がR1年度は約0.6億円だったものが、R7年度には約9.9億円に拡大傾向。

JAEA原子力科学研究所との技術交流会を開催（1月22日）

当協議会では、日本原子力研究開発機構（JAEA）大洗原子力工学研究所（以下「大洗研」）協力の下、研究者・技術者と企業の交流促進を目的とした技術交流会を、去る1月22日にトヨペットスマイルホール大洗において開催しました。

当日は、研究者約130名、参加企業21社38名のほか関係者を含め、合計約190名にご参加いただき、盛会裏に終了しました。

第1部では、大洗研の概要や同研究所が有する技術シーズの紹介に加え、研究現場における具体的な技術ニーズの発表が行われました。

溶融アルミナ試料のカットモデル製作やミニチュア試験・遠隔試験を支えるものづくり技術、セラミクス用3Dプリンタによる原子炉燃料製造に向けた取組など、企業との連携が期待されるテーマが提示され、参加者の関心を集めました。

第2部では、展示ブース形式による技術交流会を実施し、研究者と企業との間で活発な意見交換や情報交換が行われました。また、出展企業による技術PRプレゼンテーションも行われ、各社の製品・技術の強みや研究機関との連携可能性について理解を深める機会となりました。

当日発表された技術ニーズに対しては、複数の参加企業が研究所側と具体的な打ち合わせを実施しており、今後の技術連携や共同研究の進展が期待されています。

本交流会は、研究者の方々とは直接交流することができる貴重な機会となっています。来年度も継続して開催する予定ですので、これまで参加されたことのない会員の皆様におかれましても、ぜひご参加くださいますようお願いいたします。



JAEAの講演風景



展示会の開催状況

予告：令和8年度総会 （5月22日(金)午後）

本協議会の令和8年度総会を5月22日(金)午後開催します。恒例の協議会活動報告と会員企業の中性子利用事例報告に加え、QST、CROSSによる講演などを予定しております。詳細は4月以降にメルマガ等で連絡します。ご多忙とは存じますが、是非ご参加いただきますようお願い申し上げます。